

紛争社会の安定に向けて —国際社会の論理、地域の現実—

本ワークショップでは、国際社会からの様々な支援や要望と、現地の実情のずれをどう乗り越えるのかという難題について、地域間比較を行いつつ検討し、紛争社会の安定の在り方について考察する。

司会：足立研幾(立命館大学)
報告：クロス京子(立命館大学)
「リベリアの事例から」
：青木健太(お茶の水女子大学)
「アフガニスタンの事例から」
：足立研幾(立命館大学)
「ミャンマーの事例から」
討論：藤重博美(法政大学)
：五十嵐元道(関西大学)

日時：2019年3月8日 13:00-15:30

場所：立命館大学衣笠キャンパス 諒友館RY208

主催：紛争・平和構築研究プロジェクト（国際地域研究所）
・ASEAN共同体時代の人間の安全保障プロジェクト（アジア日本研究所推進プログラム）